

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容（下記規定）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	SVE-29	S/No.	
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	対象部分 機器本体（消耗部品を除く） お買い上げの日から1年
お客様	お名前	ご住所	様
販売店	店名	住所	TEL()
上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書等、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。			

修理メモ（症状をなるべく詳しくご記入ください。〔故障内容〕〔取り付け車種・年式〕）

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、ユビテルで相談窓口にお問い合わせください。

＜無料修理規定＞

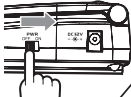
- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、ユビテルで相談窓口へご相談ください。
- 保証期間内で次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5.本書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
※本書を紛失しないよう大切に保管してください。

音量を設定する ※設定は必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

電源スイッチをONにします。



確認音(🔊)ピロッピロッ…が数秒間鳴り、パイロットランプが点滅します。

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタン（T/MUTE）を押しながら、音量ツマミを回します。



押している間は警報音が鳴り続けます。

受信感度について

ハイレベルな受信性能のスーパー感度に固定されています。

便利な機能について

オートクワイアット/ディマーマ機能

レーダー波の受信が約30秒間続くと、自動的に音量が小さくなり、ランプも暗くなります。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパー感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もしっかり受信します。

仕様

電源電圧	: DC3.6V(ニッケル水素電池 1.2V×3) DC12V(シガープラグ入力充電電圧)	本体外形寸法	: 61(W)×25(H)×87(D)mm(突起部を除く)
消費電流	: 待機時 4mA以下 最大 50mA以下	本体重量	: 93g
受信方式	: スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	※製品改良のため、仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。	
受信周波数	: Xバンド、Kバンド		

レーダーアラーム・iDSPについて

本機は、Wアラームと接近テンポアップの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。[レーダーアラーム]
さらに、本機は、iDSP/ 統合的デジタル信号処理技術 (Integrated Digital Signal Processing Technology) により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけではなく、通常とは違うニアミスアラームでお知らせします。[ステルス識別]
また、新Hシステムの「断続的に発射される電波」に対しても警報することができます。[新Hシステム対応]

※ステルス識別は、ステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

Wアラーム

音（電子音）と光（アラームランプ）のダブルで警報します。

接近テンポアップ

取締りレーダー波発信源への接近（電波の強弱）にあわせて音と光が変化します。

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に本機で探知されないよう、待機中は発射せず、必要なときに短時間で強い電波を発射して速度が測定できる「狙い撃ち式」の取締り機です。受信できなかったり、警報に間に合わない場合がありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

取締り機(電波の種類)	警報音
ステルス型取締り機 (必要なときのみ、短時間発射される狙い撃ち的な連続波)	ニアミスアラーム(ピロッピロッピロッピロッ…)が鳴ります。
通常の取締り機（常時発射されている連続波） 新Hシステム（断続的に発射される電波）	警報音が鳴ります。電子音は断続音から連続音に変化します。

※通常の取締り機の電波を受信した場合でも、周辺の状況などにより、ニアミスアラームが鳴ることがあります。

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機（オービス）の一種ですが、断続的に発射される電波（周波数は同一）であるため、従来機では探知（受信）しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。



※電光掲示板による警告がない場合もありますので、ご注意ください。

取締りのミニ知識

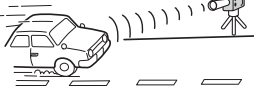
取締りの方法や種類をよく理解して、本機を上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法（レーダー方式）

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。
※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。



2. 距離と時間で算出する方法（ループコイル式・LHシステム・光電管式）

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。
※この方式は取締りレーダー波が発射しておらず、本機で検知することができません。

3. 追走して測定する方法（追尾方式）

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。（ストップメーター）
※追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、検知することができません。

アフターサービスについて

1. 保証書(本取扱説明書に付いています)

保証書は、必ず「販売店」「お買い上げ日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3. 対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4. 修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、またはユビテルで相談窓口に修理をご依頼ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	● 電源スイッチがONになっていますか。 ● バッテリー（ニッケル水素電池）が消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 ● オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	● ソーラーパネルによる太陽光からの補充充電ができにくい場合は、シガープラグコードからの充電を行ってください。 ● シガープラグコードで充電できないときは、シガープラグコードの先端キャップをゆるめ、ヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量（1A）の新しいヒューズと交換してください。
反応（警報）しない	● 電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅を確認してください。 ● 警報音は鳴りますか。テスト&ミュートボタン（T/MUTE）を長押しして確認してください。 ● オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。 ● 取締りレーダー波が発射されていたか。必要なときに短時間で電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 ● レーダー波を発射しない取締り（光電管式、ステルス型取締り、ループコイル式、LHシステム、追尾方式など）の場合、事前に探知することができません。
取締りもしていないのに警報機能が働く	● ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 ● 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ● まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。 〈取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器〉 ・ 電波式の自動ドア、防犯センサー ・ 気象用レーダー、航空レーダーの一部 ・ 信号機の近くに設置されている車輛通過計測機 ・ 他のレーダー探知機の一部 ・ NTTのマイクロウェーブ回線の一部
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	● レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音が小さくなり、ランプも暗くなります。（オートクワイアット/ディマーマ機能）

ユビテルで相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日
(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様相談センター

0120-998-036